

研究協力をお願い

藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

サルコペニアに該当するリハビリテーション患者における摂取エネルギーとFIM利得の関連についての後ろ向き研究
1．研究の対象および研究対象期間 2024 年 6 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院回復期病棟に入院された患者さん
2．研究目的・方法 < 目的 > 回復期病棟のリハビリテーションにおいて、低栄養とサルコペニアは重要な課題です。サルコペニアとは、筋力と筋量が低下している状態のことです。サルコペニアと低栄養が併存する症例では、生命予後に大きく影響を与え、2年後の死亡率と独立して関連するという報告もあります。 また、入院中の体重増加は機能予後との関連が強くないといわれる一方で、筋肉量の増加や握力値が機能回復や自宅退院率に強く関連すると報告されています。 令和6年度診療報酬の改定により、回復期病棟では体重減少率、低体重、筋量減少に基づく栄養評価が必須となり、筋量評価を含めた栄養管理が求められています。そこで、サルコペニアの入院患者さんを対象に入院中のエネルギー摂取量が退院時の機能回復にどのような影響を及ぼすのか明らかにすることを目的とします。 < 方法 > サルコペニアと診断された患者さんの摂取栄養量を調査する。 退院時の機能回復指数（FIM 利得）と摂取栄養量の関連を調査する。
3．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで
4．研究に用いる試料・情報の種類 ・患者背景：年齢、性別、身体所見、現病歴、既往歴、合併症、治療歴、口腔内状態 ・血液検査：総リンパ球数、ヘモグロビン、血清アルブミン、C 反応性タンパク質、血清クレアチニン ・栄養評価：栄養評価スクリーニング（MNA - SF）、低栄養評価（GLIM 基準）、 必要栄養量、摂取栄養量、食形態、FOIS（Functional Oral Intake Scale） ・筋肉量評価：体液量測定、握力測定 ・ADL 評価：FIM スコア（行動・認知）、日常生活機能自立度

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

・研究責任者

昭和大学保健医療学部保健医療学研究科 看護師・管理栄養士(教授) 安倍 聡子

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属:昭和大学藤が丘リハビリテーション病院栄養科 氏名:松井 遥

住所:〒227-8518 神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1番1号

電話番号: 045(974)222(平日 8:30～17:00)